

晴海五丁目西地区の変遷

東京2020大会前

大会前整備は平成28年度に現場に着手し、令和元年12月に完了しました。



整備開始時

平成28年12月

都市基盤整備工事の開始直後、特定建築者工事の着手前の状況です。



選手村の整備完了

令和元年12月

大会前整備を無事完了させ東京2020大会を迎えることができました。

大会前整備中



盛土



下水



電線共同溝

工事調整会議



5-6街区地上躯体



道路舗装



平成28年度 事業着手

- 道路整備
盛土・下水・電線共同溝・街路築造といった基盤整備工事に着手しました。
- 建築工事
タワー棟を除く21棟の住宅棟(板状)と商業施設の工事に着手しました。

年号	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
再開発事業	●認可 ●特定建築者選定					
道路整備	盛土・下水・電線共同溝・街路築造工事				一部仕上げ工事	
建築工事		住宅棟(板状)建設		商業棟建設		
エネルギー事業		水素パイプライン・仮設水素ステーション工事				

東京2020大会後

大会後には、住宅棟(タワー)の建築や街路等仕上げ工事等を行い、令和7年度の事業完了を目指します。

住宅棟(タワー)の建築

まちの表情の大きな要素となる住宅棟(タワー)2棟が内陸側に配置されることで、まち全体がなだらかなシルエットになり、建物群として美しくまとまります。



海側から見た建物群(完成イメージ)

住宅棟(板状)、商業棟改修

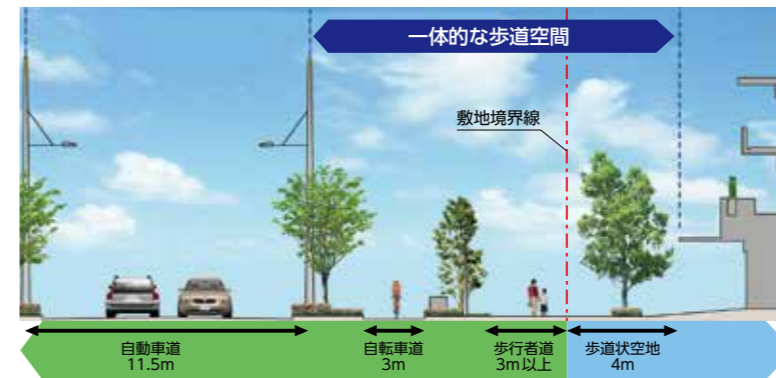
大会時に選手村として一時利用された住宅棟(板状)21棟、商業棟については、改修を行い、令和5年度完成を目指します。



商業施設(完成イメージ)

街路等の仕上げ工事

大会後は、街路等の仕上げ工事を行います。都と特定建築者と連携し、公共空間と建築敷地が一体となったまちづくりを進めることで、一体感のある魅力的な街並みや快適な歩行空間を形成します。



一体的なまちづくりのイメージ

年号	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
再開発事業					事業完了●
道路整備	街路等仕上げ工事				竣工
建築工事	(関連事業) マルチモビリティステーション・船着場工事		竣工		
	住宅棟(板状)改修		竣工		
建築工事	商業棟改修		竣工		
	住宅棟(タワー)建設				竣工
エネルギー事業	水素パイプライン・水素ステーション工事、純水素型燃料電池設置				竣工